

教育研究等環境の整備に関する方針

東京慈恵会医科大学では、本学の目的・使命を実現するため、学生が自主的に学習に取り組み、教員が十分に教育研究活動を展開できるよう、教育研究等環境の整備に関する方針を定める。

施設・設備について

1. 本学の事業計画に基づき、都心部にある西新橋キャンパスと近郊に所在する国領校キャンパスの特性を活かし、医学部および医学研究科における教育・研究活動の効率性と利便性および機能性を高める。
2. 対面授業と遠隔授業の双方とも高い学習効果が得られるよう施設設備を整備する。
3. 学生・教職員のみならず、大学および本学附属病院に来院するすべての人の安全性と衛生面の確保に万全を期す。
4. 学生の主体的な学びを支援するため、自習室およびグループ学習のためのラーニングコモンズとしての機能を確保し、学生の多様なニーズに対応する。
5. バリアフリー化やユニバーサルデザインなど、人の多様性に配慮した整備を進める。
6. 地球環境に配慮して整備を進める。

図書館

1. 学生の主体的な学びを支援する一環として、西新橋および国領の両キャンパスに図書館を設置し、質量ともに十分な学術情報資料を集積する。
2. 両図書館は有機的に連携し、利用者の利便性と効率性の向上を図る。
3. 図書、学術雑誌、電子情報等の学術情報資料の系統的な収集、蓄積、提供に努め、学術情報サービスの充実を図り、学生・教員の利用を促進する。
4. 学生・教員など利用者から積極的に意見を聴取し、サービスの改善に反映させる。

ICT

1. 数理・データサイエンスを学び、探究できる環境を整備する。
2. 教育研究活動を支援するため、安全性、信頼性および利便性に配慮したICT環境の整備に努め、その活用を促進する。
3. 情報システム運用基本方針および情報システム運用・管理規程など関連規程に基づき、ネットワークセキュリティに配慮し、情報の保全および管理を行う。
4. 学生および教職員への情報倫理に関する教育を継続的に実施する。

教員による研究活動

1. 本学の研究に関する基本的な考えとビジョンに基づき、本学の研究活動の方向性(中長期的研究戦略)を策定し、研究活動を推進する。
2. 研究 IR に基づき、本学の研究活動を円滑かつ活発に遂行できる環境の整備、研究支援体制の構築、研究制度改革を戦略的に推進する。
3. 本学の強みを活かした研究領域および将来的に強みになりうる研究領域を見極め、本学独自の価値創出を目指す。
4. 自己点検・評価委員会 教育・研究会議が点検を行い、改善を促し、研究の質を確保する。
5. 研究成果の還元のため、社会実装を目指した研究活動に必要な制度・体制を整備する。
6. 研究成果の学内外への発信を戦略的に進める。
7. 小・中・高校生に研究の魅力・価値を伝える活動を推進する。
8. 本学教職員が講師を務め一般向けに行う市民公開講座などの活動を積極的に促進する。

研究倫理

1. 研究者を対象に研究倫理教育 FD を行い、研究不正・研究費不正の再発防止を徹底すると共に研究インテグリティを確保する。
2. 大学は、東京慈恵会医科大学研究者行動規範、その他関連規程および研究費ガイドに則った研究活動を促進する。
3. 研究倫理やコンプライアンス、研究費の適正使用に関する研修を継続的に開催する。